

# クリストファー・ギルバーグ博士



- 児童精神医学分野の教授として研究と教育に従事しており、児童精神医学分野では世界有数の高名な人物。(1950年生まれ)。
- 特に、発達障害の分野では、アスペルガー症候群の診断基準は非常に重要な論文で、引用頻度も群を抜いて多く、ICDやDSMなどの国際疾病分類にも影響を与えている。
- 国際的に評価の高い自閉症スペクトラムと発達障害の診断のためのツールの開発も手掛けている。治療の分野でも長年にわたる臨床経験を有し、その分野での著作も多い。
- 2014年には自閉症研究で最も成果をあげた研究者の一人として、トムソン・ロイターの「全ての分野において世界で最も影響力のある研究者」に選ばれている。
- 2016年には国際自閉症研究会議 (INFAR) にて、INSAR生涯功績賞を受賞。INSAR (国際自閉症研究学会) は、自閉症に関する知識の発展に献身的に取り組む、科学的かつ専門的な団体。INSAR生涯功績賞は、自閉症の研究において多大な功績を残した者に与えられる賞。

## 【主な職歴】

- ・ 1982年：スウェーデン ヨーテボリ大学 児童青年精神医学科助教授
- ・ 1984年：ヨーテボリ大学 障害研究所教授
- ・ **1986年～現在：ヨーテボリ大学 児童青年精神医学科教授**
- ・ **2001年～現在：ロンドン大学 児童青年精神医学科教授**
- ・ 2004年～現在：グラスゴー国立病院 児童精神科コンサルタント
- ・ 2005年～現在：ストラスカライド大学 (グラスゴー・スコットランド) 大学  
児童精神医学科教授
- ・ 2006年～現在：リングフィールドてんかん児童国立センターコンサルタント
- ・ 2007年～現在：ロンドン児童健康研究所児童精神科客員教授
- ・ 2008年～現在：クイーンシルビア児童病院 (ストックホルム)  
児童精神神経科医長
- ・ 2008年～現在：サルグレンスカ病院 (ヨーテボリ) 児童精神神経科医長
- ・ 2011年～現在：ヨーテボリ大学 ギルバーグ神経精神医学センター長



Gillberg Neuropsychiatry Centre  
Sahlgrenska Academy